

地区防災計画（避難支援個別計画）作成モデル事業について

1 事業の概要

平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、河川氾濫や津波等で浸水が想定される区域や、土砂災害警戒区域がある地区において、モデル事業として、地区防災計画又は避難行動要支援者の個別計画作成を支援する。

事業の推進に当たっては、県及び県内全市町村等で協議会を設置して、計画作成過程やノウハウ等を共有し、計画作成が全県的に広がるよう取り組む。

2 モデル事業実施地区

- (1) 地区防災計画：津山市城西地区
備前市片上地区
- (2) 個別計画：和気町田ヶ原地区

3 スケジュール

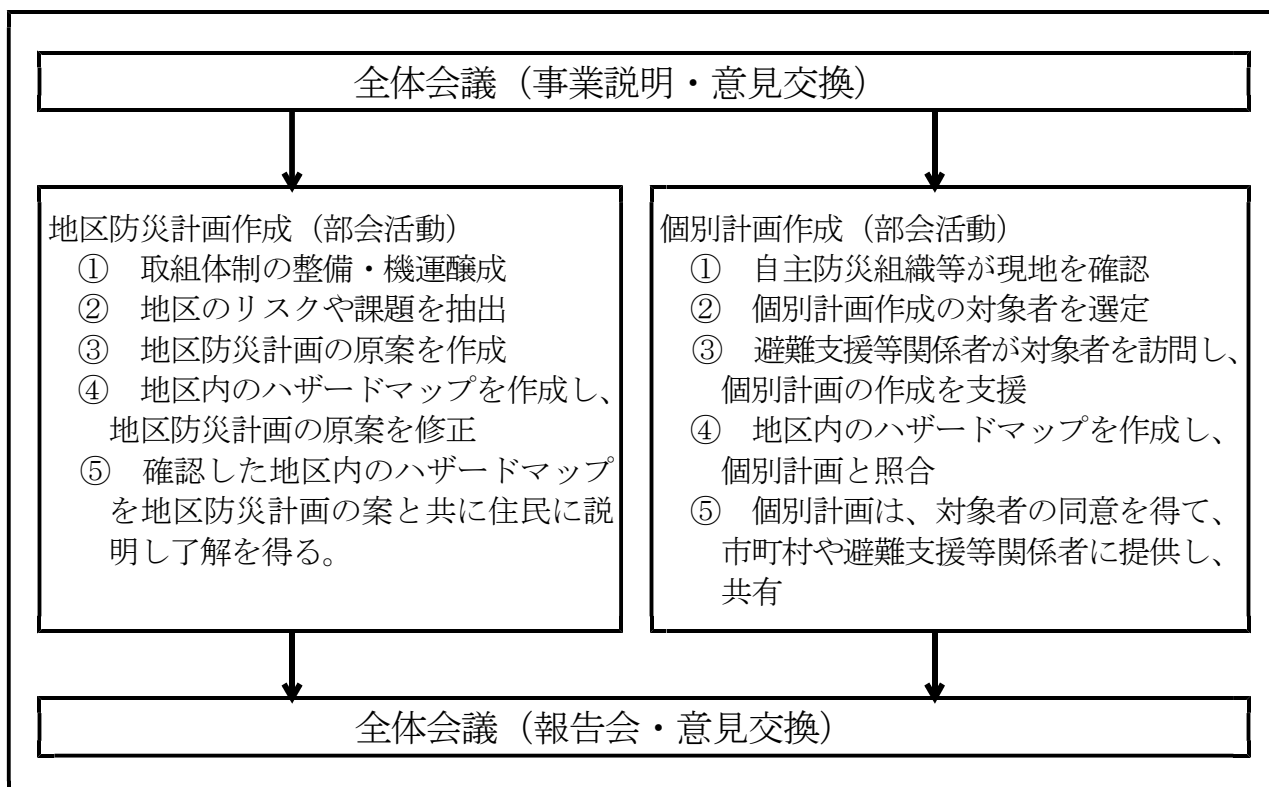
平成31年4月	協議会設置及び全体会議の開催
令和元年5月	活動開始
令和2年1月	各地区での活動成果の取りまとめ
〃 2月	全体会議（報告会）の開催

4 事業の進め方

モデル事業実施地区において、協議会の部会を設け、防災及び福祉の専門家のアドバイスをを行いながら、計画作成を支援する。

部会メンバーは、防災・福祉専門家、福祉団体、民生委員、市町村（防災・福祉担当課）、県民局（防災・福祉担当課）、地域住民、オブザーバー市町村等を予定部会や全体会議において情報共有等を図り、全市町村での横展開を目指す。

<参考：事業の進め方（例）>



地区防災計画（避難支援個別計画）作成モデル事業実施地区の概要

モデル地区名	津山市城西地区	備前市片上地区	和気町田ヶ原地区
作成する計画	地区防災計画	地区防災計画	避難支援個別計画
計画を作成する地元組織名	城西まちづくり協議会	片上地区支えあい実行委員会	田ヶ原自主防災会
代表者	会長 高須 昌明	会長 宇治橋 昭彦	会長 頼正 康生
地区世帯及び人口	2,176 世帯 (4,476 人)	1,624 世帯 (3,406 人)	112 世帯 (259 人)
災害リスク	<p>水害：地区隣接の河川氾濫による最大 2.0m の浸水が想定される区域あり</p> <p>地震：那岐山断層帯の地震により最大震度 6 弱の想定</p> <p>土砂：土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域あり</p>	<p>水害：南海トラフの巨大地震を想定した津波により、最大 2.0 m の浸水が想定される区域あり</p> <p>地震：南海トラフ巨大地震により最大震度 6 弱の想定</p> <p>土砂：土砂災害警戒区域あり</p>	<p>水害：浸水想定なし</p> <p>地震：南海トラフ巨大地震により最大震度 5 強の想定</p> <p>土砂：土砂災害警戒区域あり</p> <p>(地区では、隣接河川のバックウォーターによる浸水を懸念。)</p>
取組プロセス	毎月第 3 火曜日に定期的なワークショップを実施。	毎月 1 回、事務局会議等に併せて、ワークショップ等を実施。	
備考			同地区の避難行動要支援者約 10 人